セスルトシテ筆者ハ自分ノ判斷丈ヲ述ベテオク卽チいはきんばい (Potentilla Dickinsii Fr. et Sav.) ノ花ガ葉化シタ上ニ更ニ多葉化シテ尖端ガ無暗ニ延ビタモノデ下ラヌモノダガ一見奇態ナ存在デアル。

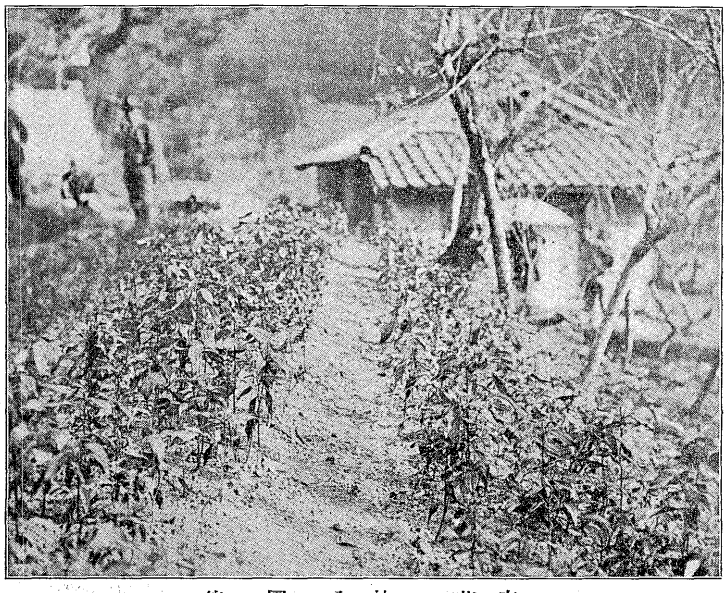
肉桂ノ栽培

刈米達夫

T. Kariyone: Cultivation of Japanese Cinnamon Trees

昔、土佐デハ女兒ガ產マレルト肉桂ノ苗ヲ二三本植エ、長ジテコレヲ剝リ皮ヲ採レバ嫁入リノ費用ガ出來タトイフ。今ハ支那カラ桂皮 (Cinnamomum Cassia Blume) ガ安價ニ輸入サレテ肉桂皮ノ需要ハ激減シ近年ハ和歌山・高知兩縣下デ年額1萬斤內外ヲ產スルニ過ギヌ、シカモ新ニ植林スルモノガ殆ド無イカラ今後產額ハ益々減少スルデアラウ。

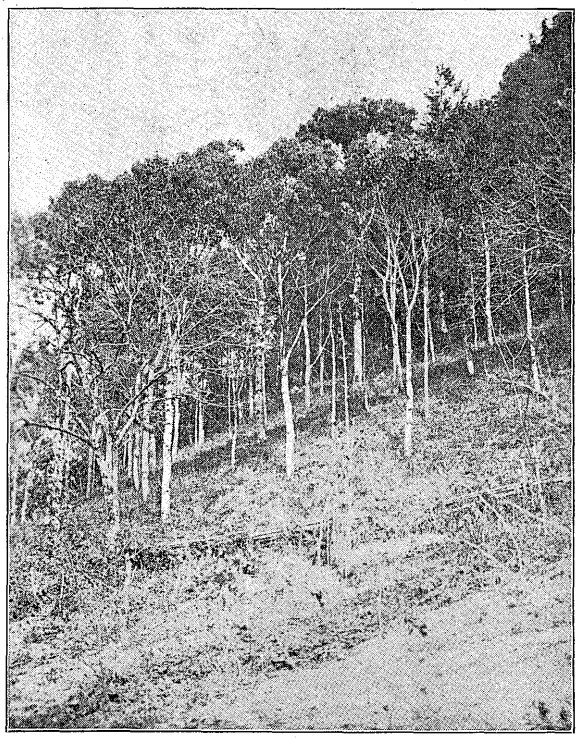
余ハ高知縣下ノ狀況ハ知ラヌガ和歌山縣下デハにくけいノ大木ハ今デモ到ル處ノ人家或ハ神社佛閣ノ境內ニ見ラレル。マトマツタ植林地トシテ殘ツテ居ルノハ有田郡ノ山地デアッテ岩倉村ニハ3町步、五村ニハ1個處ニシテ 10 町步ノ肉桂林ガアル。



第一圖 肉桂ノ苗床

肉桂ノ苗ヲ仕立テルニハ12月頃黑熟セル果實ヲ採リ果皮ヲ剝除シ土中ニ埋藏シ置キ翌春4月頃取リ出シテ苗圃ニ1尺間隔ニ

1粒ヅツ播種スル。5月發芽シ其年ノ秋ニハ5～6寸ニ生長スル。其翌年及ビ次年ノ3月ト2回床替シ第1回ハ株間2尺、第2回ハ3尺トスル。其間除草・施肥・中耕等ノ手入ヲ要スル。其翌年卽チ播種第4年ノ3月排水良好、肥沃ナル南面向陽ノ傾斜地ヲ選ビ株間10尺ニ本植スル。

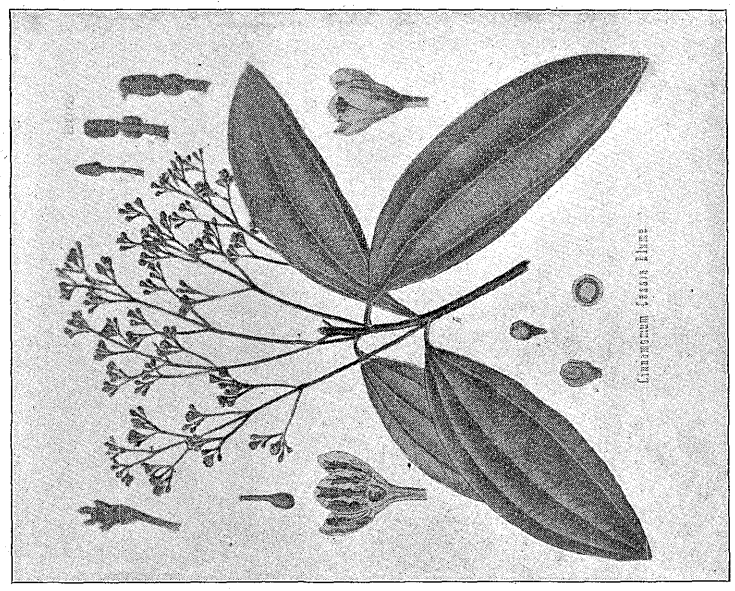


第二圖　肉桂造林地（和歌山縣有田郡岩倉村）

本植後ハ時々除草スル他、特別ノ手入ヲ要セヌ。肥料少量ヲ施セバ甚ダ成育ガ宜シイ。15年目ニハ大體高サ15尺、胸高幹周1.5尺ニナル。伐採適齡ハ15～30年デアツテ夫レ以上ニナルト香味ガ不良トナル。

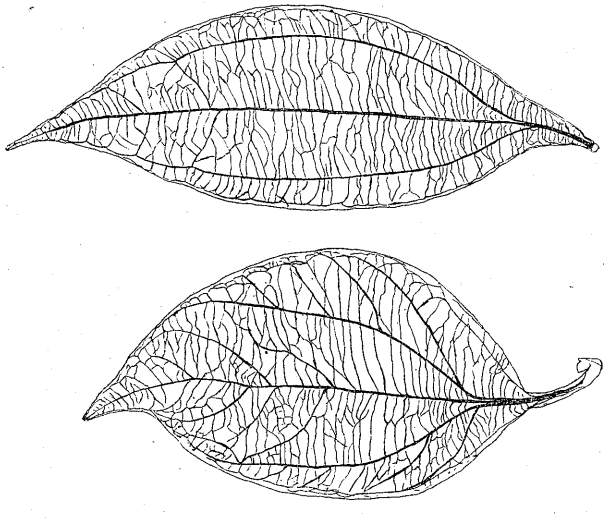
採收ハ通常5～6月ニ行ヒ細根ヲ損ゼヌ樣根元カラ1間程隔タル處ヨリ堀リ始メ深サ3尺位ニ堀リ下ゲ樹ヲ倒ホス。幹枝皮ハ鉈ヲ用ヒテ剝ギ上層ノ枹皮ヲ掻キ取ル。根ハ適當ノ長サニ切斷シ水洗乾燥後木臺上ニ列ベ木槌デ輕ク敲キ剝皮シコレヲ陽乾スル、是等ヲ品質ニヨリ選別スルガ幹皮及ビ枝皮ヲ桂辛ト稱シ最劣等品デ100斤5圓位ニ賣レル。根皮ハ荒皮・中卷・小卷・「チリチリ」ノ4種ニ大別シ、「チリチリ」ハ更ニ中チリ、上チリ、松葉ノ3種ニ區別スル。荒皮ハ1貫1圓、松葉ニ至ツテハ1貫5圓內外デアル。松葉ハ芳香・甘味共ニ申シ分無ク支那產桂皮ノ及ブ處デ無イ。コレハ上等ノ菓子ニ用ヒラレル。其ノ收量ハ無論生育ノ良否ニヨリ著シク差等ガアルガ25—30年木デハ大體幹枝皮(桂辛)ガ15貫、荒皮3貫、中卷2貫、小卷3貫、「チリチリ」ガ2貫採レル。コレダケヲ現在ノ相場デ賣ルト僅カ20圓內外ノ收入デアルカラ引キ合ツタモノデ無イ。

和歌山縣下ノ肉桂栽培ハ古ク元祿年間ニ始マリ明治 20 年頃ニハ最モ盛ンデ



第三圖　Cinnamomum Cassia Blume (Köhler ニヨル)

アツタ由。其頃ニハ肉桂皮ノミナラズ肉桂水ガ全國ニ廣ク賣レタ。日本紙ニ肉桂水ヲ浸ミ込マセタ肉桂紙トイフモノヲ子供ノ頃ニ母カラ買ツテ貰ッタコトヲ覺エテ居ルガ、コレモ一時中々



第四圖　やぶにくけい(左)及にくけい(右)ノ葉裏

流行シタ。余ハ先年和歌山縣ノ肉桂植林功勞家今井嘉氏（有田郡岩倉村）カラ色々ノ說ヲ聞イタガ、チリチリ1貫ニ水ヲ加ヘテ蒸溜シ肉桂水ガ1升5合採レ

タサウデアル。

支那桂皮ノ原植物 Cinnamomum Cassia Bl. ハ未ダ本邦ニ渡來シタコト無ク余ハ見タコトモ無イガ恐ラクにくけいニ性質ノ似タ植物デアラウカラ本邦ニモヨク生育シ得ルモノト思ハレル。桂皮ハ年額 30 萬瓲、4 萬圓內外ヲ每年支那カラ本邦ニ輸入シテ居ルモノデアルカラ何トカ之ノ苗ヲ入手シテ試植シ度イモノト考ヘテ居ル。セイロン桂皮ノ原植物 C. Zeylanicum Breyne ハ臺灣ニ移植シテヨク生育シテ居ル。

以上3種ハ芳香成分トシテ何レモ「桂アルデヒド」ヲ含有スルガ、吾國中部以南ニ多キやぶにくけい C. Pedunculatum Nees ハ全ク「桂アルデヒド」ヲ含有セズ且ツ其葉ノ形狀デモ明瞭ニ區別スルコトガデキル。又同屬デアリナガラくすのきハ「桂アルデヒド」ヲ含有セズ、多量ノ樟腦ヲ含有シ、蘭領印度產ノ Cinnamomum Sintok Blume ハ樹皮中著量ノ「オイゲノール」ヲ含有スル等、此屬ハ甚ダ成分ノ變化ニ富ンデ居ル。

北亞米利加アリゾナ化石林紀行

小　倉　　謙

Y. Ogura : **A Glimpse of Petrified Forest, Arizona, U. S. A.**

序

古代ノ植物ガ地中デ化石シ、ソレガ今發掘セラレテ、奇怪ナ古代植物ノ一半ヲ窺フ事ノ出來ル場合ガアル。然シソノ化石トイヘバ普通ハ葉ヤ枝ノ斷片デアツテ、大キナ植物體ガソノ儘化石スルトイフ樣ナ事ハ尠イ。然シ、樹木ノ材部ハ可成リ大キイマヽ化石トシテ堀出サレル事ガ尠クナイ。コレヲ普通**硅化木**ト稱ヘラレ、各地各時代カラ產出スル。本邦デモ硅化木ハ到ル處ニ產スルガ、中ニハ仲々大キイモノガアル。福岡地方ニアル**松岩**ト稱スルモノ、福岡市外名島ニアル**檜石**（ホバシライシ）ト稱スルモノナドハ殊ニ大イノヲ以テ有名デアル。然シ、硅化木ハ大部分倒レテ地中ニ埋モレテヰルモノデアルガ、中ニハ直立シタ儘硅化スル事ガアル。朝鮮平壤附近ニアルノハソノ有名ナ例デ、十數本ノ眞直ニ立ツタ株ガ硅化シテ美事ニ並ンデヰル。勿論、未ダ知ラレナイ地中ニ埋モレタモノニハ更ニ規模ノ大キナモノガアルダラウト豫想スル事ガ出來ル。

狹イ日本デサヘコウイフ狀態デアルカラ、外國ニハマダマダ大規模ナ硅化木